

8. 少子化についての考え方

8-1. 少子化問題の捉え方(Q33)

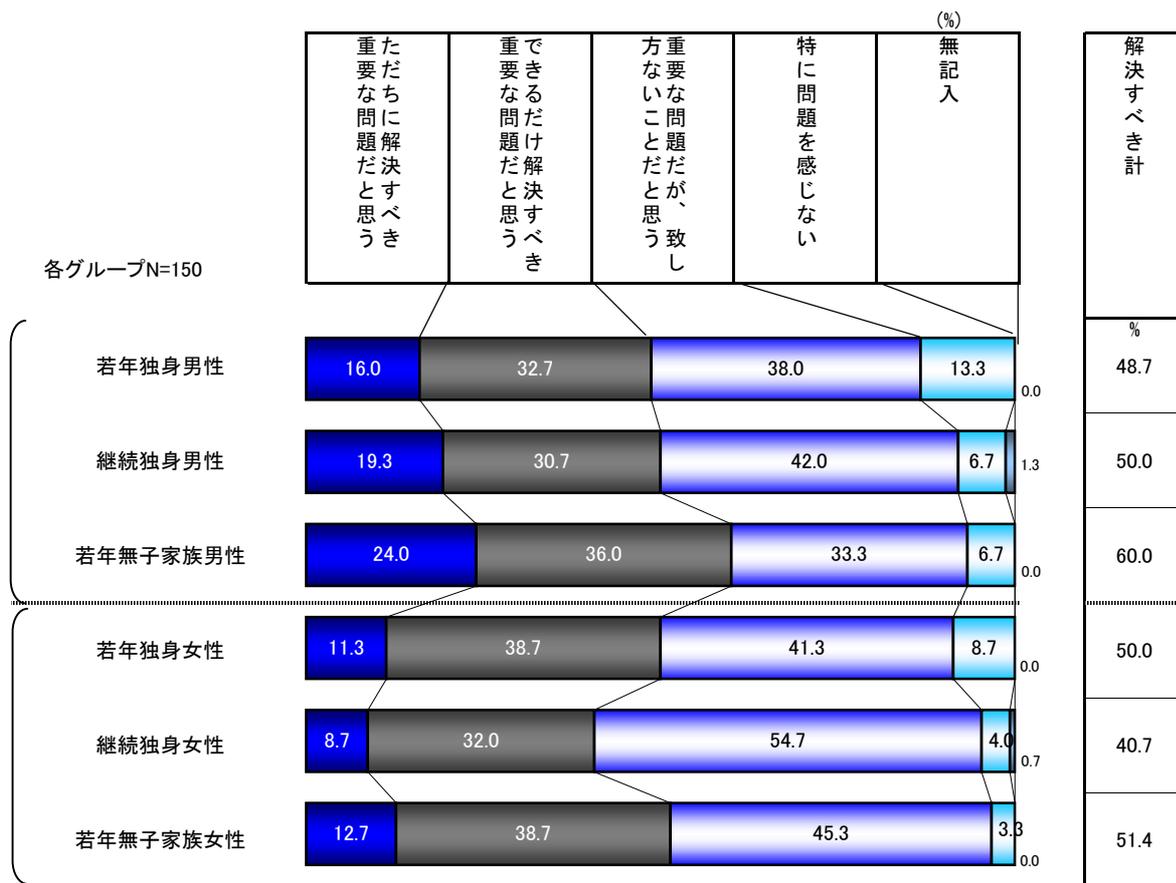
【男性】

少子化の急速な進展に関し、少子化問題をどのように捉えているか質問したところ、「解決すべき問題だ」と答えた人は【若年独身】では5割弱、【継続独身】で5割、【若年無子家族】で6割であり、しかも、積極的に肯定した人は【若年無子家族】に多い。既婚者の方が重大視している。

【女性】

【若年独身】と【若年無子家族】では半数が「解決すべき」としているが、【継続独身】で「解決すべき」と答えた人は4割強に留まっている。

図表8-1. 少子化問題の捉え方(単数回答)(基数:全体)



8-2. 少子化対策への意見(Q34)

【男性】

どのグループでも、まず第一に「経済的負担の軽減策の充実」、ついで「地域の子育て支援サービスの充実」「子育てに対する支援体制の整備」「仕事と子育ての両立の取り組み」を望んでいる。

「子育てに対する支援体制の整備」は特に独身グループで、その他の施策は【若年無子家族】で特に高くなっている。

【女性】

女性の場合も、望んでいる施策は男性と同様である。男性に比べ女性が望んでいる施策は「男性の育児参加の奨励」であるが、【継続独身】では相対的に低くなっている。また、「結婚や出産の奨励」「家庭を築くことの大切さの啓蒙」についても他グループより低くなっている。

図表8-2. 少子化対策への意見(複数回答)(基数:全体)

